

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第75号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月9日 01時30分ごろ	
発生場所	鹿児島県南大隅町伊座敷港西防波堤灯台から真方位257°400m付近 (概位 北緯31°05.8′ 東経130°41.3′)	
事故等調査の経過	平成21年5月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第二廣良丸、199トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 135422、有限会社山本海運</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、五級海技士（航海） 甲板長、五級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	中央部船底外板に凹損	
事故等の経過	本船は、船長及び甲板長ほか2人が乗り組み、鹿児島湾を南進中、単独で船橋当直中の甲板長が居眠りに陥り、予定変針場所を通過して、伊座敷港西方の陸岸に向首して航行し、平成21年5月9日01時30分ごろ、海岸の敷石に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 甲板長は、海面が穏やかで、周囲に他船がいなかったことから気が緩み、いすに腰を掛け、単独で船橋当直に当たっていて、居眠りに陥ったものと考えられる。 本船は、予定変針場所を通過し、伊座敷港西方の陸岸に向首して航行し、海岸の敷石に乗り揚げたものと考えられる。 鹿児島出港前の三日間は休日となっていて、疲労の蓄積はなかったものの、生活リズムの変化が眠気を催したことに関与した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が鹿児島湾南部において南進中、単独で船橋当直中の甲板長が居眠りに陥ったため、伊座敷港西方の陸岸に向首して航行し、海岸の敷石に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	